

<b>グループ・ディスカッション I</b>		<b>専任教員</b>	
------------------------	--	-------------	--

配当年次	1 年次	配当学期	1 学期	科目区分	プロジェクト研究
単位数	2 単位	必修・選択	必修	授業形態	演習

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標  
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	
	実践知識	○ 主体的に討議に参画し適切な知見を提供できる能力を身につける。
技能	分析解決技能	◎ 実践的な研究テーマについて現実的な計画書を作成できる能力を身につける。
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	
	国際協調態度	

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

グループ・ディスカッション I

※ 2013年度以降入学生が対象です。

<b>授業の概要</b>	<p>グループ・ディスカッションでは、討議とコミュニケーションを深めることを第一義とする。</p> <p>具体的には、毎回、グループ学習、グループ討議を繰り返す中で自分の研究テーマを探索、発見していく。したがって、自らのリーダーシップを発揮して主体的に議論を展開することが求められる。専任教員は議論を促すファシリテーター役を担う。成果は研究プロポーザル（研究計画書）としてとりまとめて提出する。</p> <p>なお、授業運営は、4名程度からなる小グループをベースとする。各グループは各週1学期の間に専任教員の指導にあたるようにローテーションを組む。学生から見ると教員を巡回する方式であり、教員との交流が図れ、教員のリソース（専門分野など）も知ることができる。巡回後の授業は、各グループ担当の教員を中心に研究プロポーザルをまとめ、発表する。</p> <p>なお本科目に関しては今後、「技能」の獲得を主眼に、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）の指向性を強める方針である。ブレイン・ストーミングの結果を形にする技能。先行研究を渉猟し、しっかりとした成果報告書を作成する技能。効果的なプレゼンテーションを実施する技能。それらのスキル獲得に期待がされることである。</p>
<b>教科書</b>	初回時に担当教員が個別に指示する（本科目の性質上、担当教員によっては特には指定されないこともある）。
<b>参考書</b>	初回時に担当教員が個別に指示する（本科目の性質上、担当教員によっては特には指定されないこともある）。
<b>授業計画・内容</b>	<p>以下、目安となる基本的な授業内容と枠組みである。</p> <p>①～⑭ 各専任教員のローテーションによる指導 【専門分野に応じたテーマ提供によるディスカッション】 各グループ担当の専任教員による指導 【研究プロポーザル（研究計画書）作成】</p> <p>⑮ 学生による研究プロポーザルの発表</p>
<b>成績評価の方法</b>	研究プロポーザルの成果物、討議に対する貢献度などをもとにして総合的に評価する（100%）
<b>事前・事後学習の内容</b>	必読資料を事前に配布し、指示する。履修者は適宜、個別に担当教員の指示に従うこと。
<b>履修上の注意</b>	各週の授業内容を生かして、各自が研究プロポーザルを仕上げていくこと。
<b>担当者からのメッセージ</b>	
<b>キーワード</b>	

